

行政視察報告書

令和4年5月23日

会派名 江南クラブ

会派代表者 牧野 圭佑

(参加者：牧野圭佑、稲山明敏、古池勝英、尾関昭、片山裕之)

行政視察の結果について、次のとおり報告します。

年月日	令和4年5月16日(月)
視察時間	午後2時～午後3時30分
視察先	大府市役所
視察項目	市税及び国民健康保険税の収納率向上について

行政視察報告書

年月日	令和4年5月16日（月）
視察時間	午後2時～午後3時30分
視察先	大府市役所
視察項目	市税及び国民健康保険税の収納率向上について
■目的 大府市は、市税総計収入率県内1位（江南市34位）国民健康保険税総計収入率県内1位（江南市30位）です。（令和2年調査） 大府市が、どのようにして収納率を上げているかを調査し、江南市の収納率向上につなげます。	
■内容 収納率を上げるには、収入金額を上げるか調定額を下げるかである 【収入額を上げるには】 ① 納期内納付の推進 ② 早期の滞納整理→現年優先→将来的に滞納繰越減少 →早期に対応すれば長期・高額にならない 【納期内納付の推進】 ① 特徴推進→大府市はトヨタ系会社が多く、特徴が多い（約7割） ② スマホ納税（ペイペイなど）市税4税 ③ 地方税共通納税システム（令和5年度～） 【早期の滞納整理】 納税緩和措置は基本1年以内12分割なら認める。 【意識付け→重要事項3つを関連させた滞納整理】 ① 強い意識と高い関心・問題意識 ② 職場のモチベーションアップ ③ 管理監督者が重要：任期5～6年のベテランを配置 ④ 徴収実績を上げる：調査はするが処分しないのはダメ、3年で不納欠損処理。 ⑤ 滞納整理のマネジメント：訪問徴収はしてはいけない！ →催告・調査・処分の効率化 →滞納整理事務の分業化 →早期調査・早期処分 ⑥ 徴収に関する法的な知識の継承 →愛知県地方税滞納整理機構経験者が多数在籍	

→滞納整理機構から戻ってきた職員がリーダー・メンターとして、滞納手法を係内にフィードバック

→令和2年度から「知多地域地方税滞納整理機構」参加

⑦ マニュアルの功罪

→マニュアルは必要だが・・・本質を理解してから

→自分で考える職員を増やす

→関係法令を何度も確認

■所感

今回視察を行った大府市では、早期の滞納整理として現年度分を優先し、徴収しています。将来的に滞納繰越が増加しないので、高額にならない様にするためです。

また、令和2年度に5市5町で立ち上げた「知多地域地方税滞納整理機構」に参加。愛知県地方税滞納整理機構は解散したが、自主的に継続し今も情報交換をしています。機構経験者をリーダーとし、機構経験者をメインとした人員構成にて業務を行っています。

※マニュアルも大切ですが、やはり、相手は人間ですので、大府市も「自分で考える職員を増やす」ことに重点をおいているように、人材の育成が重要であると感じました。

今回の視察結果を今後の江南市の為、参考にさせていただきます。